

— 宮崎の農地を守り、活かして、未来へつなぐ —

一般社団法人宮崎県農業会議は、平成28年4月1日に施行となった「農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）」に基づき、県から指定を受けた「農業委員会ネットワーク機構」です。

## 雇用就農資金事業を活用している経営体のご紹介



今号の  
PICK UP 法人

株式会社 宮崎アグリアート

取締役の松本慎一郎さん(左)、雇用就農資金雇用就農者[令和7年度第3回]矢野利紀さん(中央)、[令和6年度第3回]藤田悠気さん(右)

(株)宮崎アグリアートは、2009年に規模拡大と安定雇用を考えて法人化。稲作を中心に施設野菜、露地野菜を栽培。水稲45ha（うちJAS認証有機米18ha）、施設野菜1ha、露地野菜30a。宮崎市生目地区の担い手として今後も機械等を導入し、農作業を省力化することで土地利用型農業を確立していきたいと意気込む。

藤田さんは、アグリアートでのアルバイトを経験後、アグリアートに就農。矢野さんは、農業高校の教員や他の農家での経験後、アグリアートに就農。現在は、二人ともリーダーとしてそれぞれほ場を任されており、試行錯誤しながら、そして助け合いながら品質や技術の向上を目標に頑張っている。

### 目次

- 会長あいさつ、農業会議 職員紹介 ……P.1
- 宮崎県農業会議令和8年度事業計画（抜粋） ……P.2
- 令和8年度県内農業委員会の状況 ……P.2
- 年間行事予定表、令和8年度「全国農業委員会会長大会」…P.3
- 所有者不明農地対策事業の取組について ……P.4
- 多様な農業者の確保に向けた農地情報の収集・発信について P.4
- 地域計画のブラッシュアップについて ……P.5～6
- 移動農業会議 ……P.6
- みやざき農業委員会女性ネットワーク令和7年度の活動 ……P.7～8
- 雇用就農資金について ……P.9
- 農業者年金について ……P.10
- 全国農業新聞について、全国農業図書のご案内 ……P.11



## 宮崎県農業会議会長あいさつ

市町村農業委員会事務局及び農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様には、農地利用最適化活動及び地域農業・農村の振興にご尽力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

本県の農業・農村は、担い手の減少や高齢化の進行、温暖化による生産への影響をはじめ、国際情勢の変化による資材・飼料価格の高騰など様々な課題が、農業経営の現場を直撃しています。

そのような中、国では「食料・農業・農村基本計画」に基づき、初動5年間で農業構造転換を集中して取り組むこととしております。

また、県では、第八次農業・農村振興長期計画の後期計画を3月に策定し、将来にわたり農地などの生産基盤を維持しながら、次代を担う人材の確保・育成と、稼げる農業の実現を一体的に推進することとしております。

農業会議としては、国や県等と連携を図りながら、中核となる担い手の育成支援をはじめ、兼業農家や小規模農家など多様な農業者の確保・育成が大変重要であると考えていますので、「宮崎県農業委員会組織における担い手の確保・育成取組方針」と農地利用最適化活動である「人と農地をつなぐひむか運動」を柱に活動を進めてまいります。

令和9年度に向けて、農地関連法の改正が動き出しております。移動農業会議等での意見交換を踏まえ、しっかりと地方の声を国等へ届けていきたいと考えております。

さて、本年度、農業会議では2人の新しい職員が加わり、市町村農業委員会では、8名の事務局長、40名の事務局職員が就任しました。また、7月には23農業委員会で農業委員・農地利用最適化推進委員の改選が行われます。我が地域の農地や担い手を皆様方と一緒に考え、議論し、地域農業の維持・発展につなげていきましょう。

一般社団法人 宮崎県農業会議 会長 福井 芳利

## 農業会議 職員紹介

令和8年度の宮崎県農業会議職員体制です。

農業委員会の皆さまとの関わりを大切に、業務に取り組んでまいります。ぜひお気軽にご相談ください。

<p><b>NEW</b></p> <p><b>事務局長</b> 柳田 敬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業会議事務局の総括</li> <li>全国農業新聞宮崎支局に関すること（新聞・図書）</li> </ul>	<p><b>総務課 課長</b> 安部 浩之</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総務課の総括</li> <li>総会、理事会及び役員・常設審議委員</li> <li>定款、諸規程及び法人登記</li> <li>叙勲・褒章・農業委員表彰</li> <li>農業委員等の女性登用</li> </ul>	<p><b>総務課 主査</b> 田村 裕子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常設審議委員会</li> <li>全国農業新聞、全国農業図書</li> <li>情報提供事業（農業会議だより、HP）</li> <li>みやざき農業委員会女性ネットワーク</li> </ul>	<p><b>総務課 主任主事</b> 木宮 香織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出納、会計（予算・決算）</li> <li>役職員の報酬・旅費、職員給与等</li> <li>農業委員会等交付金</li> <li>公務災害補償制度</li> <li>農業委員会職員・委員名簿、調査等</li> </ul>
<p><b>総務課 嘱託職員</b> 岡田 尚子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国農業宮崎支局（新聞・図書）</li> <li>農業会議代表メールに関すること</li> <li>各事務補助</li> </ul>	<p><b>農政課 課長</b> 田所 健依</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農政課の総括</li> <li>機構集積支援事業及び農地利用推進対策事業</li> <li>地域計画のフォローアップ</li> <li>全国農業委員会会長大会、代表者集会</li> </ul>	<p><b>NEW</b></p> <p><b>農地利用最適化 専門監</b> 戸敷 正浩</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地利用最適化活動の推進</li> <li>農業委員会法及び農地法、基盤法等</li> <li>常設審議委員会（審議・情報提供）</li> <li>会長事務局長会議</li> <li>農地利用最適化施策の意見書</li> </ul>	<p><b>農政課 課長補佐</b> 甲斐 寛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担い手の確保・育成及び企業参入</li> <li>農業法人の確保・育成・情報収集</li> <li>雇用就農資金等の総括</li> <li>相続未登記（所有者不明）農地</li> <li>農地に関する研修会</li> </ul>
<p><b>農政課 主任主事</b> 斎藤 静也</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業者年金</li> <li>農地利用最適化活動進捗管理</li> <li>農地利用最適化交付金</li> <li>農業委員等、農業委員会事務局の研修会</li> <li>農業委員会サポートシステム・タブレット</li> </ul>	<p><b>農政課 嘱託職員</b> 佐藤 まり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雇用就農資金</li> <li>農業法人（雇用型経営体）の育成</li> <li>田畑売買価格・農作業料金調査</li> <li>各事務補助</li> </ul>	<p><b>農地利用最適化 相談員</b> 岩永 修一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会制度、運営等の巡回支援活動</li> </ul>	<p><b>農地利用最適化 支援員</b> 猪股 敏雄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会サポートシステム、タブレット等の巡回支援活動</li> </ul>

# 宮崎県農業会議 令和8年度事業計画（抜粋）

## 【事業方針】

本県の農業・農村を取り巻く環境は、生産資材価格の高止まりや相次ぐ気象変動などで農業経営は一層、厳しさを増しており、また、かつてない人口減少や高齢化の波が押し寄せ、基幹的農業従事者の平均は65.5歳、平成27年から令和7年の10年間で同従事者数は42%減少するなど、近未来、これまで誰も経験したことのない農業者激減の時代が迫っており、衰退を止めることが出来ていない。

国においては、改正食料・農業・農村基本法の下で策定された新たな食料・農業・農村基本計画に基づき、農地の集積・集約による生産性向上や中山間地域におけるきめ細かな施策の展開など、農業の構造転換を集中的に進めることとしている。

このような状況を踏まえ、農業会議としては、将来にわたって営農して稼ぎ、暮らしていける農村を維持していくため、国の動向を注視しながら、地域の農地利用の指針となる「地域計画」の取組や農地利用の最適化活動を一層推進するとともに、地域農業の中核となる経営体の育成を主眼としながら、新規就農や新規参入の促進や兼業農家や小規模農家など多様な農業者の確保・育成を進めていく。

特に県土の9割は中山間地域であり、農業集落の7割を超える集落が中山間地域に位置する本県において、農業を発展させる攻めの産業政策と農村を守る地域政策を人・農地の観点から再構築しながら積極的に取り組む必要があると考える。

農業・農村の維持・振興には多くの課題があるが、農業会議として、農業委員会組織に課せられた使命を着実かつ適正に果たしていくため、農業委員会ネットワーク機構としての役割を発揮し、関係機関・団体との連携のもとに、以下の7つの事項について計画的な事業の推進を図ることとする。

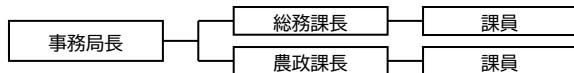
- 1 「人と農地をつなぐ『ひむか』運動」の推進
- 2 地域計画のフォローアップの支援
- 3 地域の農業・農村を守る担い手の確保・育成の推進
- 4 農地情報の適正な管理と業務の効率化の支援
- 5 農業者年金の加入推進と管理・運営の支援
- 6 政策提案活動等の実施
- 7 情報提供活動の推進

## 【組織運営】

○会員総数 61名（個人会員 29名(農業委員会会長:26名 学識経験者:3名)  
法人会員 32名(市町村:26市町村 農業団体:6団体)

○役員構成 16名〔理事:14名(うち会長1名、副会長2名、専務理事1名)、監事:2名〕

○事務局体制



## 令和8年度 県内農業委員会の状況

### ◆宮崎県内農業委員・農地利用最適化推進委員の状況(令和8年4月1日現在)◆

現在、県内では農業委員317名、農地利用最適化推進委員322名の計639名の皆様にご活躍いただいています。そのうち女性委員は84名で13.1%です。

	条例定数	実数	性別		年代別				
			男	女	30代以下	40代	50代	60代	70代以上
農業委員	319	317	260	57	4	23	34	124	132
農地利用最適化推進委員	329	322	295	27	3	17	46	110	146
合計	648	639	555	84	7	40	80	234	278

### ◆市町村農業委員会事務局体制(専任・兼任別)◆

(令和8年4月現在)

市町村名	事務局長		事務局職員 (事務局長除く)		計		市町村名	事務局長		事務局職員 (事務局長除く)		計	
	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
宮崎市		1		18	0	19	西米良村		1		3	0	4
国富町		1		2	0	3	木城町		1	2		2	1
綾町		1		2	0	3	川南町		1	3		3	1
日南市		1	4		4	1	都農町		1	2		2	1
串間市	1		4		5	0	延岡市	1		6	3	7	3
都城市	1		13		14	0	日向市	1		3		4	0
三股町		1	2		2	1	門川町		1	2	1	2	2
小林市	1		5	1	6	1	美郷町		1	1	1	1	2
えびの市	1		4		5	0	諸塚村		1		1	0	2
高原町		1	3		3	1	椎葉村		1		1	0	2
西都市	1		4		5	0	高千穂町		1	1	2	1	3
高鍋町	1		3		4	0	日之影町		1	1		1	1
新富町	1		2		3	0	五ヶ瀬町		1		1	0	2
計					9	17	計	9	17	65	36	74	53

(注)会計年度任用職員・臨時職員等は含まない。

令和3年度からの推移(事務局長含む)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
合計	131	127	127	127	126	127
専任	95	94	93	95	92	74
兼任	36	33	34	32	34	53



# 年間行事予定表

	農業会議・常設審議委員会 女性ネットワーク関係	全国・ブロック・ 農業委員会会議等	農業委員会関係会議・ 農業委員会等研修会	その他研修会
6月	常設審議委員会(9) 理事会(9) 通常総会(24)臨時理事会(24) 女性ネットワーク監査会(26)	全国農業委員会会長大会(2~3) 全国農業会議所理事会(11) 全国農業会議所通常総会(30)	農業委員会*トシム操作研修会 (基礎)(10) 移動農業会議(5~7月)	雇用就農資金事業説明会(4) 雇用就農資金制度説明・研修会(26) 農業者年金専門業務全国研修会(17~18) 情報提供事業(新聞・図書)担当者会議(12)
7月	常設審議委員会(14) 女性ネットワーク理事会(1)	情報事業ブロック会議(西日本)(30)	農業委員会*トシム操作研修会 (応用)(1~2) 農地実務担当者研修会(6~7) タブレット操作研修会(23)	
8月	常設審議委員会(18) 臨時理事会(18) 女性ネットワーク総会・研修会(25)		新任農業委員・推進委員研修会 (3ブロック) 県央(20)、県北(21)、県南(24)	労務管理セミナー〔基礎編〕(4) 農業者年金加入推進特別研修会
9月	臨時総会(書面)(4) 常設審議委員会(15) 臨時理事会(15)	都道府県農業会議専務理事・事務局長 会議(1)		
10月	常設審議委員会(14) 県及び県議会への要請活動(14)	都道府県農業会議農政・農地主任者会議 農業委員会職員全国研究会		労務管理セミナー〔人材確保・育成・定着〕 雇用就農資金制度説明・研修会
11月	常設審議委員会(13) 九州・沖縄ブロック女性委員研修会	都道府県農業会議会長会議(6) 全国農業会議所理事会(12)	農業委員・推進委員全体研修会(4) 農業委員会会長・事務局長会議(13)	農業者年金加入推進セミナー(全国)(2)
12月	常設審議委員会(16) 理事会(16) 女性ネットワーク理事会	全国農業委員会会長代表者集会 (1~2)		
1月	常設審議委員会(15) 女性農業委員登用促進研修会(全国)	都道府県農業会議農政・農地主任者会議 全国農業会議所理事会(21)	移動農業会議(下半期) (1~2月)	
2月	常設審議委員会(12) 女性ネットワーク研修会	都道府県専務理事・事務局長会議(2) 都道府県農業会議会長会議(16) 全国農業会議所理事会(19)	農業委員会事務局長会議(12)	雇用就農資金制度説明・研修会
3月	常設審議委員会(16) 理事会(24) 女性農業委員活動ソングラム(全国)	全国農業会議所臨時総会(15)		

## 令和8年度「全国農業委員会会長大会」

6月1日(月)に東京都で令和8年度全国農業委員会会長大会が開催されましたが、台風6号の影響から、本県においては参加を取りやめる判断をさせていただきました。

大会では、全国の農業委員会会長や関係者など約1,800人が結集し、現場の意見を積み上げた政策提案のほか、農業委員会系統組織が取り組む全国運動の推進と情報提供活動の強化に関する申し合わせなどを決議されました。〔写真は全国農業新聞(電子版)2026年6月12日号より抜粋〕



壇上で山下副大臣(右)に要請書を手渡す國井会長



ガンバロー三唱で氣勢を上げる参加者

## 所有者不明農地対策事業の取組について



令和7年度から、担い手への農地の集積・集約化を進めるうえで課題となっている所有者不明農地の解消に向け、「所有者不明農地対策事業」に取り組んでいます。

昨年度は宮崎市、三股町、五ヶ瀬町の各農業委員会で取組を実施しました。取組内容は本会ホームページ(下記URL)に掲載しておりますので、ぜひ参考にしてください。

令和8年度は新たに4つの農業委員会で実施を予定しています。実施する農業委員会を支援するため、司法書士による所有者調査や解消に向けた助言を受けられる体制も整えます。

所有者不明農地の多くは、相続時に適切な登記をしないことで発生します。事業実施の有無にかかわらず、相続時に適切に登記をすすめるなど農業者への啓発に取り組んでいただきますようお願いいたします

本会ホームページURL↓

<https://www.miyazaki-nk.net/news/?id=1774941025>



## 多様な農業者の確保に向けた農地情報の収集・発信について

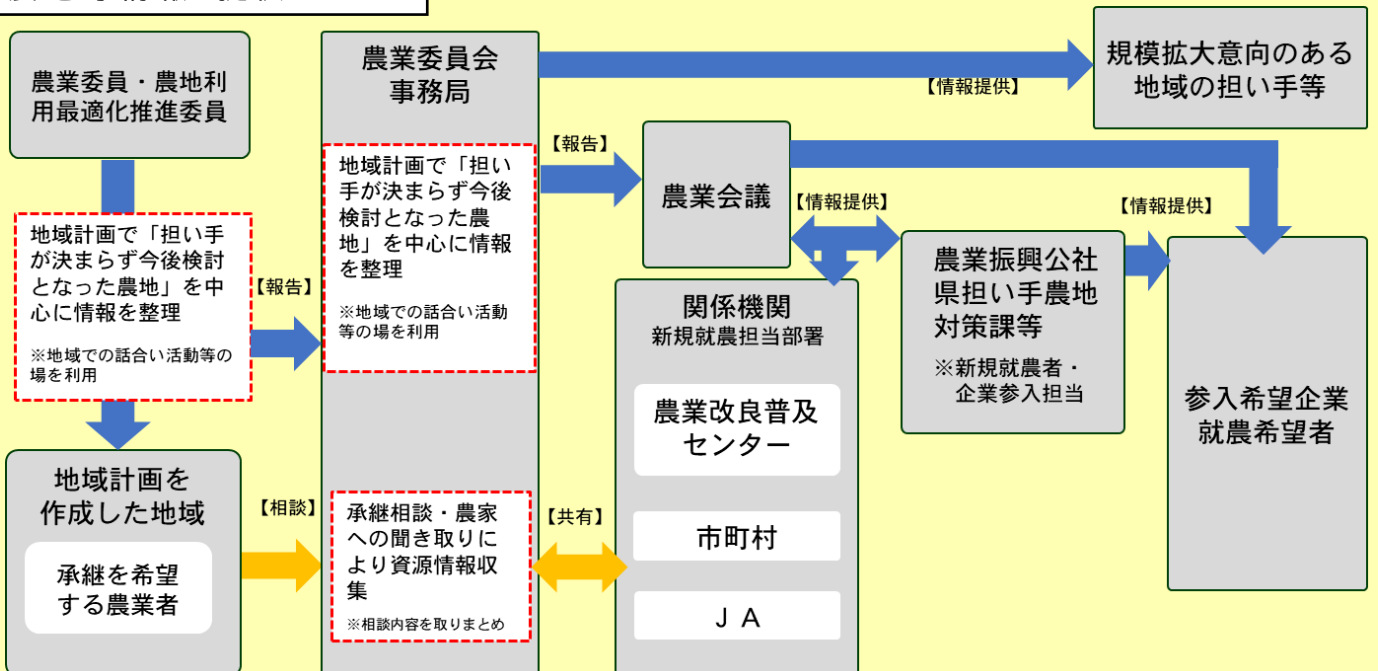
皆さんご存じのとおり、高齢化の進行などにより、農業の担い手は年々減少しています。今後も団塊世代の引退が進むことで、担い手不足はさらに深刻になることが予想されます。

このような状況を踏まえ、宮崎県農業委員会組織では、令和7年4月1日に「担い手の確保・育成に関する取組方針」を策定し、各種取組を進めています。農業委員会の皆様には、地域計画において担い手がまだ決まっていない農地を中心に、農地情報の収集や発信に御協力いただいているところです。

また、資材や燃油価格の高騰により、新たに農業を始める際の負担が大きくなっています。そのため、農業経営や施設・機械などを引き継ぐ「事業承継」への関心が高まっています。農業を引退される方や経営規模の縮小を考えている方の意向を把握し、農地や施設などの地域資源に関する情報を収集したうえで、関係機関と共有していただくことも重要です。

農業委員会組織では、こうした取組を通じて担い手の確保・育成を支援していきたいと考えています。改めて、農地等に関する情報収集と情報共有の流れを以下のとおりお示ししますので、引き続き御理解と積極的な活動をお願いいたします。

### 農地等情報・提供フロー



# 地域計画のブラッシュアップについて

## 地域計画はブラッシュアップが大切

令和7年3月までに、26市町村791地区において「地域計画」が策定されました。策定作業を通じて現状の農地利用や地域課題の見える化が図られましたが、現在の計画の多くは、限られた策定期間の中で十分な合意形成ができず、農業者等の意向や集約化の将来像を十分反映できなかったものも多くみられます。

担い手の減少や高齢化の急激な進行等、厳しい農業情勢を踏まえると、計画の策定で終わらせず、地域課題の解決、特に、農地の集積・集約化に向けた話合いの継続や10年後の農地利用を反映した目標地図づくりなど、計画の実効性を高めるための見直し（ブラッシュアップ）が重要です。

## 地域計画における農業委員会の役割

### 1. 地域計画策定（変更）段階

①	協議の場への参加（基盤法第18条第1項）
②	目標地図の素案作成（基盤法第20条第1項）
③	意向把握（基盤法第20条第2項）

### 2. 地域計画実行段階

①	計画の実現	○地域計画・目標地図に明らかにされた農業を担う者に農地バンクを通して利用権の設定等を適宜働きかける（ <b>基盤法第21条第1項</b> ）
②	計画の状況把握と実行促進	○毎月の農業委員会の総会における地域計画変更への意見表明（ <b>基盤法第19条第6項</b> ）、農地の権利移転（促進計画、転用等）の協議結果を市町村部局と情報共有し、地域計画の実行に関与 ○計画実行促進のため市町村長等へ意見提出（農業委員会法第38条）

### 3. 農業委員会法に定める取組み事項

第6条	必須業務	①農地法等の法令業務（農地の権利移動の許可、農地転用案件への意見具申等） ② <b>最適化業務</b> （担い手へ農地の利用集積、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）
	任意業務	③法人化その他の農業経営の合理化 ④農業に関する調査及び情報提供
第38条	関係行政機関等に対する農地等利用最適化推進施策の改善についての具体的な意見の提出	

## ブラッシュアップの進め方

昨年、宮崎県が調査した、「地域計画の見直しでの困りごと」では「耕作者や所有者の将来の農地利用の意向が把握できない」、「地域住民に地域計画の理解が浸透していない」等が主な課題でした。

法定業務である協議の場への参加や、目標地図素案の改訂を市町村と協力して進めながら、日頃の最適化活動の中で、話し合いに参加しなかった農家や意向を確認できていない農家、地域計画のことをよく知らない農家に対して、地域計画を周知（チラシや目標地図の活用を）したり、離農や規模縮小などの意向を聴き取る等の取り組みを進めましょう。

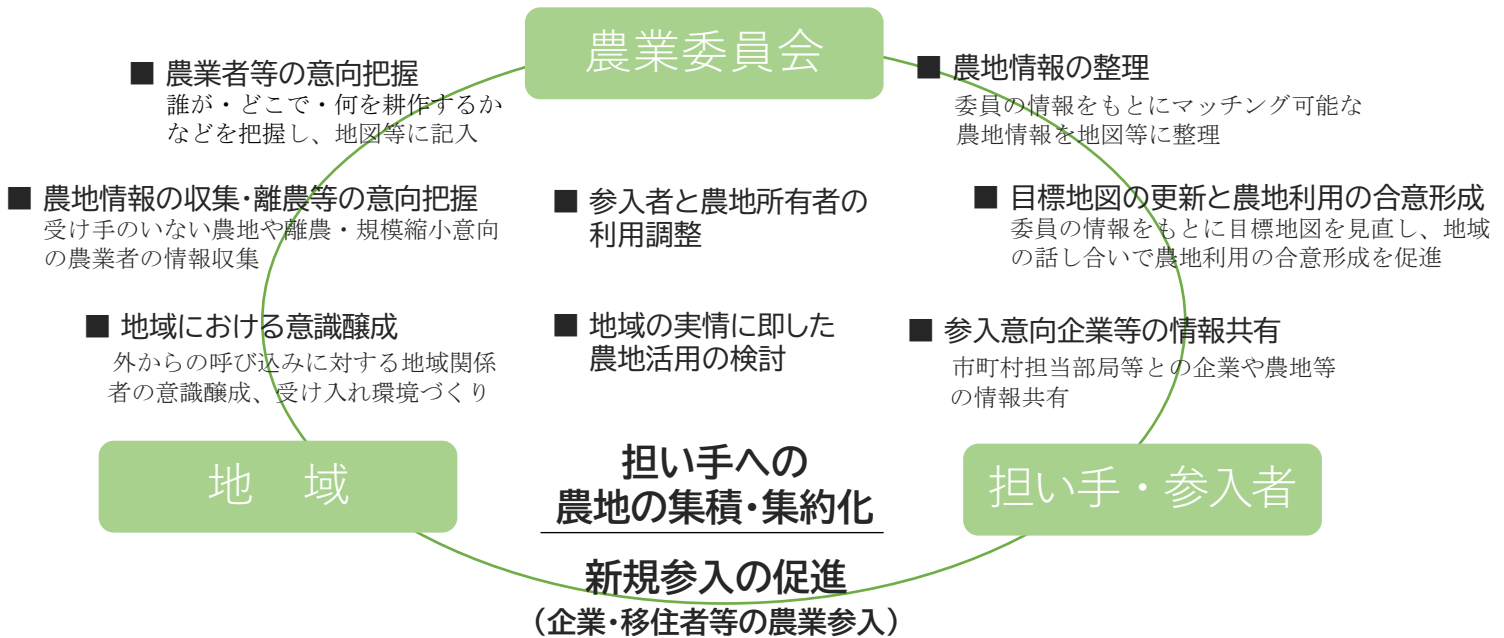


宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」

## 最適化活動とブラッシュアップ

令和7年より、宮崎県農業委員会組織では、地域の実情に精通した農業委員・農地利用最適化推進委員等の農地利用最適化活動を通じ、「中核となる担い手及び多様な農業者(人)」と「地域で受け継がれてきた貴重な農地」をつなぐ「ひむか」運動に取り組んでいます。

この運動で聴き取った、農業者の意向を見える化し、地域計画のブラッシュアップにつなげていきましょう。



## 移動農業会議

5月から7月にかけて、「移動農業会議」と称して、県内26市町村の農業委員会を訪問し、会長をはじめ委員の方々や事務局職員の皆様と直接意見交換をさせていただいております。

担い手減少に対応した今後の農地利用についてや事務局の効率化について、また、農地利用最適化活動の取り組み、農業者年金の加入推進についてなど、皆様と率直な意見交換をさせていただいております。

この「移動農業会議」を通して得た意見を踏まえて、10月に予定している県への意見書提出や、全国農業会議所を通じた国への提案などに反映をしていきたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。



5/14 美郷町



5/14 高鍋町



5/22 えびの市



5/22 小林市



5/25 三股町



5/26 国富町



5/26 綾町



5/28 木城町



5/28 都農町



6/1 川南町



6/5 日南市



6/5 宮崎市

# みやざき農業委員会女性ネット

## 令和7年11月17日 令和7年度女性農業者ネットワーク交流会（宮崎市、JAアズム）

令和7年11月17日、宮崎市のJAアズム大ホールにおいて、県内女性農林漁業者等112名が参加し「令和7年度女性農林漁業者ネットワーク交流会」が開催されました。本ネットワーク会員の参加は12名。研修内容は団体の活動発表、意見交換会、販売・試食・展示会と盛り沢山でした。

また、綾町の園田委員が出展したブースは大盛況でした♡



## 令和7年11月18日~19日 🚗 🏠 🚗 🏠 九州・沖縄ブロック農業委員会女性委員研修会（長崎市）

令和7年11月18日~19日に、長崎市の「ホテルニュー長崎」において「九州・沖縄ブロック農業委員会女性委員研修会」が開催されました。九州・沖縄各県から約380名が集結。本県からは40名（会員33名、事務局7名）参加し、他県女性委員との交流を図って参りました。

また研修会終了後は視察研修を行い、大変有意義な2日間となりました😊



視察研修1  
（株）エコグリーンヒガシ



視察研修2  
道の駅 彼杵の荘

## 令和8年2月2日 異業種研修会（林業・酪農編）（新富町）



椎茸のポタージュ・  
バターソーテー・ピザ風  
どれも美味しかったです♡

## ワーク 令和7年度の活動

### 令和8年2月24日 第2回研修会（宮崎市、宮崎県トラック協会）

令和8年2月24日（火）に宮崎市の宮崎県トラック協会において「第2回研修会」を開催しました。会員の参加は44名。  
日向市CIO補佐官の稲村公俊様による「生成AIの驚異的進化とその活用方法～便利な使い方と注意しないといけないこと～」と題した講演は大変分かりやすく、大好評でした。



〔講師〕  
日向市CIO補佐官  
稲村 公俊 様



### 令和8年3月4日～5日 第21回女性の農業委員会活動推進シンポジウム及び視察研修（東京都・千葉県）

令和8年3月4日、東京の砂防会館で全国から約530名が集結し「第21回女性の農業委員会活動推進シンポジウム」が開催され、本県からは10名（会員9名）参加しました。

また、翌日は千葉県柏市にある千葉大学植物工場へ見学に行ってきました。最新の技術に感心しきりでした。



全国農業新聞に掲載されました!

特殊発泡ポリスチレン  
北幸式植物工場  
見学用モデル棟



# 雇用就農資金について

農業経営者の皆さまへ

# 雇用就農資金



50歳未満の就農希望者を新たに雇用し、農業就業又は独立就農に必要な農畜産物の生産技術・経営に関するノウハウ等を習得させるための研修を実施する農業法人等に対して資金を交付する「雇用就農資金」を実施します。



令和8年度第1回目の募集で事業実施を希望される場合は、**令和8年3月4日(水)から4月7日(火)(必着)までに雇用就農資金公式HPの「応募申請フォーム」より申請を行ってください。**

## 雇用就農者育成・独立支援タイプ

農業法人等が就農希望者を雇用し、農業就業又は独立就農に必要な実践研修を実施する場合に資金を交付

助成期間

最長  
4年間

助成額 ※1,2

年間最大 60 万円  
(月額 5 万円) ※3

## 新法人設立支援タイプ

農業法人等が、新たな農業法人を設立して独立就農することを目指す者を雇用して実践研修を実施する場合に資金を交付

助成期間

最長  
4年間

助成額 ※1,2

年間最大 120 万円  
(月額 10 万円)  
3-4年目は最大60万円  
(月額 5 万円)

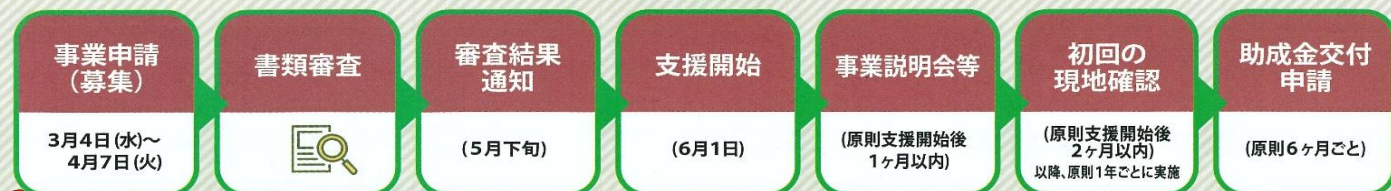
- ※1) 各タイプともに、新規雇用就農者が多様な人材（障がい者、生活困窮者、刑務所出所者等）の場合は、年間最大 15 万円が加算されます。
- ※2) 事業実施期間が3ヶ月未満の場合は助成金は交付されません。
- ※3) 雇用就農者育成・独立支援タイプは1経営体当たりの新規採択人数は年間5人まで、かつ3人目以降の助成額は年間最大20万円となります。（多様な人材の場合は年間最大15万円の加算あり）

農業法人等が職員等を次世代の経営者として育成するために実施する派遣研修を支援する「次世代経営者育成タイプ」も随時募集しています。なお、本事業の実施は令和8年度予算案の成立が前提のため、その内容に応じて事業内容等の変更があり得ることに御留意願います。

### 募集期間等

	募集期間	支援対象となる新規雇用就農者の採用日	支援期間
第1回	2026年 3月4日～4月7日	2025年 6月1日～2026年 2月1日	2026年 6月1日～2030年5月31日
第2回	2026年 6月18日～7月22日	2025年10月1日～2026年 6月1日	2026年10月1日～2030年9月30日
第3回	2026年 10月22日～11月25日	2026年 2月1日～2026年10月1日	2027年 2月1日～2031年1月31日

### 応募～採択後の流れ



# 農業者年金について

## 農業者年金とは

国民年金の上乗せとなる、農業者のための公的年金です。  
 加入者自身が積み立てた保険料と運用益をもとに将来の年金額が決まり、一生涯受け取れる安心の制度です。

加入要件は3つだけで、農業に関わる人が広く加入できます！

- 国民年金第1号被保険者
- 20歳以上65歳未満
- 年間60日以上農業に従事

※国民年金保険料免除者を除く。※60歳以上の方は国民年金任意加入被保険者に限る。

農家の皆さんにとって、たくさんのメリットがあります！



亡くなるまで  
ずっと受給できる  
終身年金

要件を満たす方は、国から  
最大半額の保険料補助を  
受けられる

支払った保険料は  
全額社会保険料控除の  
対象



## 令和7年度新規加入実績

農業委員会の皆様には、日頃より農業者年金の加入推進にご協力いただき、ありがとうございます。  
 本県の令和7年度の新規加入者は69名（うち39歳以下38名、女性36名）で、達成率は76.7%となりました。

### ◆（独）農業者年金基金理事長賞を受賞！

令和7年度の加入推進に功績があった受託機関として、宮崎市・都城市・西都市農業委員会が表彰されます。加入推進にご尽力ありがとうございました！

農業委員会	受賞した理事長賞	
宮崎市	新規加入者（女性）部門	第7位
都城市	目標達成度合い（20~39歳新規加入者数5~9人）部門	第2位
西都市	新規加入者部門	第7位
	新規加入者（女性）部門	第2位

## 加入推進のお願い

新規加入目標は86名（うち39歳以下53名、女性43名）です。

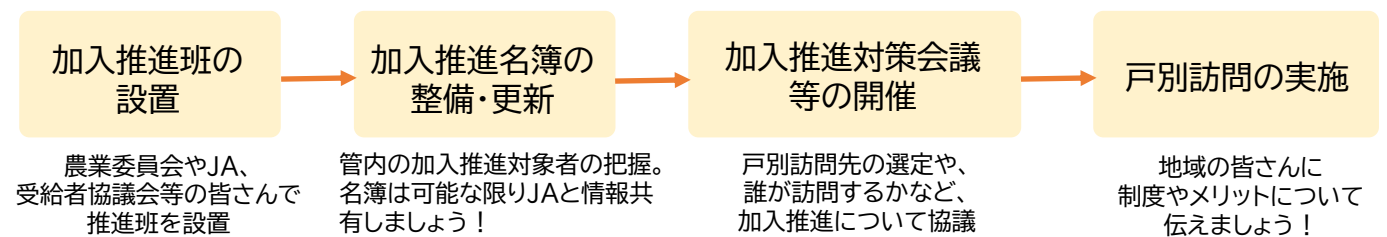
令和7年度4月末時点で新規加入者は3名です。

農業委員会と農業協同組合で連携し、加入推進体制を整備して活動に取り組みましょう！

加入推進においては、戸別訪問が最も効果的です。

1人でも多くのお知り合いや地域の農業者の方にお声かけをお願いいたします。

### 加入推進の流れ



### 県内の加入推進事例

- 農事実行組合にチラシを回覧した。
- 農業委員会会長の協力による加入推進。
- 農業委員が自身の息子に加入を勧めた。



### 農業会議ホームページをチェック！

制度のメリットがわかる！  
 年金額の試算ページに  
 つながる！



# 全国農業新聞について

全国農業新聞は、農業委員会系統組織紙として、農業委員会活動事例（本紙7面）等の最適化活動に役立つ情報を発信している唯一の農業系新聞です。

### ◆ 特徴 ◆

- ・オールカラーで「見やすい」「分かりやすい」を追求
- ・週刊紙として解説に力点を置き、1週間の重要なニュース（農政等）や最新農業技術・流通情報等を紹介
- ・地方版（本紙8面）で地域の問題を全国に発信  
※電子版では全地方の記事も閲覧可能

電子版が  
2026年4月から  
リニューアル！



毎週金曜発行／月900円  
(電子版 月700円)

## 委員の皆様へ購読のお願い

全国農業新聞は、農業委員会系統組織紙として発行し、委員皆様の購読100%（皆購読）を目指しております。ぜひ購読をお願いします。

- ◆ 県内の購読率 …… 99.2% (639名中634名購読)
- ◆ 皆購読達成委員会 …… 24委員会

令和8年5月末時点

全国農業図書を  
ご活用ください

## 全国農業図書のご案内



2026年度  
農業委員会業務必携93号  
〔農委活動24事例付〕

R08-10 B5判200頁 1,496円

最重要の必携図書として毎年度刊行する本書です。農地利用の最適化をはじめとする農業委員会業務の進め方が掲載されています。農業委員活動事例付です。

7/15刊  
行予定！



2026年度版 農家相談の手引  
～農地・経営対策に役立つ！  
支援制度の資料集～

R08-20 A5判 880円

農業委員・推進委員を始めとする地域農業のリーダー等が、農業者へ制度や施策の要点を説明する際に活用できる資料集です。農業に関する諸制度を学ぶ手引書として幅広く活用できます。

↑表紙は前年度のもの



営農型太陽光発電  
制度的あらまし

R07-37 A5判32頁 385円

営農型太陽光発電について、概要やその取り扱い、一時転用許可など制度概要を一通り網羅した小冊子。事例紹介や営農型太陽光発電の現状、不適切事案への対応についても掲載。農水省のガイドラインの様式例や同省が出しているQ&Aも一部抜粋。



農業者年金制度と加入推進  
2026年度版

R08-03 A4判75頁 770円

農業者年金基金主催の研修会の教材としても活用される加入推進の公式テキスト。「農業者年金の必要性和魅力を伝えること」に始まり、制度の概要とその特徴についてわかりやすく説明。

### 編集後記

2026年6月号をお読みいただきありがとうございます。  
令和8年度は柳田局長と戸敷専門監の2名が農業会議の仲間になりました。皆さまとの関わりを大切に、頼られる農業会議を目指します。今後とも『会報 みやざき農業会議だより』をよろしくお願いいたします。

一般社団法人宮崎県農業会議  
〒880-0913宮崎市恒久1丁目7番地14  
TEL 0985-73-9211  
FAX 0985-52-1102

